News Release

2026 年 11 月 16 日

リコーと東北電力、GPU クラウドサービスを活用した AI 環境の検証を開始

～東北・新潟地域の自治体・企業における生成 AI の実用化に向けて～

株式会社リコー（本社：東京都大田区、社長執行役員：大山　晃、以下「リコー」）と東北電力株式会社（本店：宮城県仙台市、代表取締役社長　社長執行役員：石山　一弘、以下「東北電力」）は、東北電力が提供する GPU クラウドサービス※1 上に、リコーの大規模言語モデル（LLM）※2、生成 AI および AI エージェントに関する技術を活用した AI 環境を構築し、東北・新潟地域を中心とする自治体・企業における実運用を見据えた検証を開始します。

本検証では、東北電力が GPU の計算資源を提供し、リコーが AI 環境の構築および検証を行います。両社は、それぞれの強みを活かし、自治体や企業が自ら高性能な GPU 環境を保有・運用することなく、生成 AI や AI エージェントを導入・活用できる仕組みの実現を目指します。さらに、本検証を通じて商用 AI サービスへの展開に向けた知見を蓄積し、地域の自治体・企業の生産性向上や新たな価値創出につなげてまいります。

1. 背景

近年、生成 AI や AI エージェントの普及に伴い、その処理を支える高性能 GPU への需要が世界的に高まっています。一方、高性能 GPU を自ら導入・運用するためには、GPU の確保に加え、電力・冷却設備や通信環境、運用体制などの整備が必要となります。

また、自治体や企業が生成 AI を業務で活用するためには、十分な計算性能を確保するだけでなく、用途や情報管理方針に応じたセキュリティや運用性、利便性などを備えた環境が求められます。

リコーは、LLM 技術、生成 AI アプリケーション開発基盤および AI エージェント技術などを活用し、企業の生成 AI 導入から実装、運用・定着までを支援しています。

東北電力は、2025 年 2 月から、高性能 GPU による計算力をクラウドで提供する「GPU クラウドサービス」を展開し、大学等にご利用いただいています。また、GPU サーバーの設置環境を提供するハウジングサービスなど、生成 AI の開発・運用を支えるインフラサービスの拡充を進めています。

こうした両社の強みを組み合わせ、地域の自治体・企業が生成 AI を導入・活用しやすい環境の実現に向け、本検証を行うこととしたものです。

2. 本検証の内容

本検証では、東北電力の GPU クラウドサービス上に、リコーが有する LLM 技術、生成 AI アプリケーション開発基盤および AI エージェント技術などを活用した環境を構築します。

これにより、自治体や企業が自ら GPU 環境を構築・運用することなく、生成 AI や AI エージェントを活用できるサービスの実現可能性を検証します。

主に以下の項目を確認します。

- GPU クラウドサービス上における生成 AI・AI エージェントの動作および性能
- オープンウェイトモデル※3 を活用した AI 推論環境の動作および有効性
- 自治体・企業の業務への適用可能性
- セキュリティや運用性を含む、お客さま向けトライアル環境および将来的な商用サービスとしての提供可能性

3. 今後の展開

両社は、本検証で得られた知見やお客さまのニーズ等を踏まえ、東北・新潟地域の自治体・企業を中心としたトライアル提供を検討するとともに、生成 AI・AI エージェントを活用した商用サービスの具体化を目指します。また、地域企業の業務効率化や新たなサービスの創出を支援することで、地域産業の競争力強化と東北・新潟地域の DX 推進に貢献してまいります。

※1 GPUクラウドサービス：GPU（Graphics Processing Unit）をデータセンター内に設置し、遠隔地のお客さまにインターネット経由でGPUの計算力を提供するサービス。

※2 大規模言語モデル（LLM：Large Language Model）：大量のテキストデータを学習し、文章の生成、要約、質問への回答などを行うAIモデル。

※3 オープンウェイトモデル：AIモデルを構成する学習済みのパラメータが公開され、利用条件の範囲内で、用途に応じた利用や調整が可能なAIモデル。

※ 社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客さまの価値創出を支えています（2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円）。

“はたらく”に歓びを　創業以来90年にわたり、お客さまの“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。
詳しい情報は、こちらをご覧ください。https://jp.ricoh.com/

| 東北電力について |

東北電力は、東北6県および新潟県を主な事業基盤とする電力会社です。電力事業を通じて地域の暮らしや産業を支えるとともに、地域社会の持続的な発展に向けた新たな価値の創出に取り組んでいます。近年は、データセンター事業に関連するサービスなど、デジタルインフラ分野への事業展開を進めており、AI技術の普及・活用を支える基盤の整備を推進しています。今後も、電力事業で培った信頼と地域とのつながりを活かし、地域産業の競争力強化やDXの推進に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。https://www.tohoku-epco.co.jp/

以　上

【報道関係のお問い合わせ先】
株式会社リコー　https://jp.ricoh.com/
広報室　TEL：050-3814-2806（直通）　E-mail：koho@ricoh.co.jp

東北電力株式会社
総務・地域共創部門　地域共創・広報ユニット TEL：022-799-1231